



ふじあさみ

～ 富士砂防が伝えてきたもの～

FUJI SABO news

No. 100
平成29年1月27日



20周年記念事業はじまる

二市一町及び関係機関から成る
記念事業実行委員会設立

「創り出そう 富士山との優しいふれあいを」
風に行われた事業

これから行われる事業

- 砂防のサマの
- 富士山と私
- 富士山の砂防と
- 富士山とともに砂防30年
- 富士山の噴火に備えて
- 20周年記念式典

FUJI SABO通信 第31号

富士山とともに砂防30年

昨日、今日、明日

砂防事業のまとめ

源頭部調査工事

富士山の噴火砂防事業は、昭和44年に着手以来、多くの皆様のご理解・ご協力のおかげで30周年を迎えることができました。今年度は富士山噴火砂防事業の30周年を振り返るとともに、シンポジウム等で多くの方々からいただいたご意見、ご意見を基に今後の砂防の進むべき方向性について整理します。

FUJI SABO news No. 97

富士山 火山噴火緊急減災対策砂防計画 (基本編)

～ 火山噴火に向けた取り組み～

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

富士砂防事務所の歩みを「ふじあざみ」と

1968～

2000～

1989年 富士砂防だより創刊

2000年 ふじあざみ



富士山砂防事業

- 1968年 直轄砂防調査に着手
- 1969年 大沢扇状地に直轄砂防事業を着手
- 1970年 富士砂防工事事務所設置
- 1972年 富士山大沢川で土石流による甚大な被害発生
- 1982年 富士山大沢川源頭部調査工事に着手
- 1983年 富士山南西野溪の土砂対策に着手

富士山南西野溪における土石流捕捉の実績

栗ノ木砂防堰堤の効果 (1992年)
(富士砂防だより8号より)



風祭沈砂地工の効果 (1996年) (富士砂防だより14号より)



土石流被害 (1972)
(富士砂防だより22号より)

2000年 観測史上最大の土石流が



大沢川遊砂地

2007年 富士山全域で雪崩発生。
2009年 大沢川遊砂地の概成

富士山砂防事業

富士山には八百八沢と呼ばれる大きな土石流が頻りに発生してきています。中でも富士山の大沢川は、崩壊が続いていまや直轄砂防事業を着手した1982年以降、これら土石流などの被害を減らすために、

火山砂防調査

1990年 直轄火山砂防事業に着手

火山砂防調査

富士山は有史以降も活動している活火山であり、噴火した場合には、周辺地域に甚大な影響が予測されます。そのため富士山砂防事務所では、富士山の火山活動に対応するための調査・検討を行っています。

現在、富士山が噴火した場合に緊急的に実施するハード・ソフト対策として「富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画」の検討を進めているところです。

ふじあざみの豆知識

「ふじあざみ」は創刊当初からの名称ではありません。それまでは「富士砂防だより」という名前でした。

富士山直轄砂防30周年を機に、21世紀に向かう新たな情報発信誌として、今まで以上にみなさまに親しんで頂けるようにと公募にて、決定しました。応募総数72点の中から厳正な審査によって、選ばれた名称なのです。

ちなみに「ふじあざみ」とは

キク科アザミ属の多年草で、富士山周辺に多いことから「ふじあざみ」と名付けられました。



フジアザミ
(富士砂防だより10号より)

2000年 富士山山体地下深部に

を観測
富士山火山災害実績マ

富士山火山防災ハンドブ

2001年 富士山ハザードマップ検

2002年 富士山火山砂防調査に着

2004年 富士山火山防災マップ公

2005年 環富士山火山防災連絡会

2007年 富士山火山砂防計画基本
(ハード対策編)を策定

由比地すべり対策事業

1961年 静岡市清水区由比地区で
大規模な地すべり発生
(寺尾地すべり)

1974年 「七夕豪雨」国道1号・東
名高速道路・国鉄が被害



七夕豪雨による被害
(ふじあざみ63号より)

2004年 由比地すべり対策検討委

2005年 由比直轄地すべり対策事

2007年 由比出張所設置



由比出張所開所式典
(ふじあざみ64号より)

2010~

へ改称



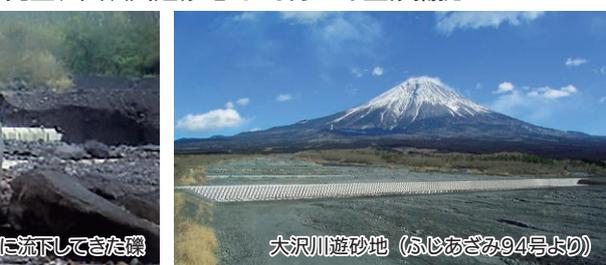
の事業がはじまりました

火山噴火に向けた取り組み

富士山を世界文化遺産に

そして、101号へ…

発生、大沢川遊砂地で28万㎡の土砂捕捉



大沢川遊砂地 (ふじあさみ94号より)

富士山スカイラインなどに被害

ほど多くの渓流が存在し、古くから雪代や土石流による被害を受
 西斜面の大沢崩れは日本有数の大崩壊地であり、土石流が頻繁に発生
 す。
 1969年から現在までに砂防施設を77基完成させました。富士砂防事
 務所から山麓地域を守るべく砂防施設の整備を行っているところです。

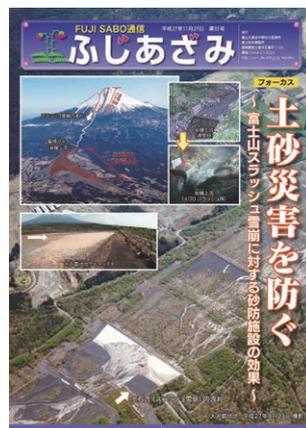
大沢川遊砂地における土石流捕捉の実績

- 2015.4 スラッシュ雪崩による土石流 (約5.7万㎡)
- 2015.12 スラッシュ雪崩による土石流 (約10万㎡)
- 2016.2 土石流 (約8万㎡)
- 2016.5 土石流 (約2万㎡)



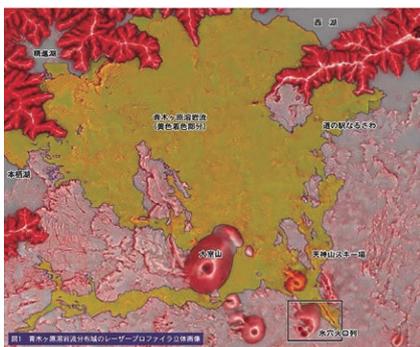
砂防施設 (えん堤)

ふじあさみ95号▶



群発低周波地震

バック作成
 ムックの配布
 討委員会の設立
 手
 表
 の発足
 本構想



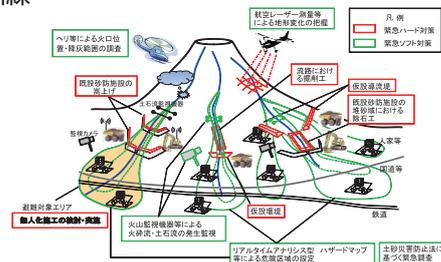
赤色立体図による青木ヶ原溶岩流の分布域の解明 (ふじあさみ38号より)

- 2012年 富士山火山防災対策協議会発足
- 2014年 富士山火山広域避難計画(案)策定
- 富士山火山三県合同防災訓練



富士山火山三県合同防災訓練 (ふじあさみ92号より)

富士山緊急減災対策イメージ (ふじあさみ99号より)



2015年 富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画 (基本編) の策定

委員会の設立 事業に着手



由比地すべり対策事業区域 (ふじあさみ94号より)

- 2011年 抑制工 (集水井・横ボーリング) 完成
- 2016年 大久保排水トンネル完成

由比地すべり対策事業

由比地区は日本の大動脈である国道1号・東名高速道路・JR東海道本線などが集中する交通の要衝です。一方でこの地は古くから多くの土砂災害に見舞われており、昭和36年寺尾地すべり、昭和49年七夕豪雨による地すべりなど大きな被害を受けてきました。
 この由比地区においては、大規模な地すべり地形が確認され、今後予想される豪雨・東海地震等による地すべり発生のある恐れがあるため、現在、地すべり対策を進めているところです。

由比地すべり対策 (集水井)



「ふじあざみ100号」 発刊に寄せて

事業広報紙「ふじあざみ」は、創刊号から数えて、今号をもって100号を迎えました。今日に至るまでご協力をいただきました多くの学識者の皆様、企業の皆様、そして何より地域の皆様に心より感謝を申し上げます。

「ふじあざみ」は富士山直轄砂防20周年（平成元年）を記念して創刊され、創刊時は「富士砂防だより」という名前で富士山直轄砂防20周年記念事業委員会より、記念イベントの一つとして発刊された特集紙が始まりでした。そして、記念事業が終わった後も継続して発行され、30周年を迎えたことを機に一般公募により、今の「ふじあざみ」という名称になりました。その長い歴史を振り返りますと、富士砂防事務所事業の進捗等を紹介するとともに、土砂災害の災害経験者による古老座談会や富士山の豆知識を紹介するなど、地域の皆様の御協力あつての100号発刊であることがよく分かります。

富士砂防事務所の広報紙「ふじあざみ」は引き続き、土砂災害防止対策への理解を深めて頂く情報媒体として、地域の皆様へ富士砂防事務所事業の進捗状況や土砂災害防止に関する情報などを届けるべく努めていきます。

今後とも「ふじあざみ」に対しまして、皆様方のなご一層のご理解とご協力を御願ひ申し上げます。

国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所長

杉本 宏之



イベント報告

■10/20(木)・11/30(水)～12/1(木)・12/16(金)

JICA海外研修員が「大沢川遊砂地」
「由比地すべり対策施設」を視察

海外研修員が日本の土砂災害に対する防災・減災の様々な技術を学ぶため、大沢川遊砂地、由比地すべり対策施設を視察しました。



視察の状況

■11/9(水)

「フーちゃん公園」で秋の収穫

潤井川流路工周辺に整備した「フーちゃん公園」にて、上井出保育園園児により、6月に植え付けを行ったサツマイモの収穫を行いました。



「フーちゃん公園」で記念撮影

■12/15(木) 工事安全協議会を開催

工事現場における安全意識の高揚を図るため、富士労働基準監督署並びに富士教育訓練センターの協力を得て、「富士砂防事務所工事安全協議会」を開催しました。



安全パトロールの様子

■12/12(月)

富士宮市職員を対象に富士山火山に備えた研修会実施

平成27年12月に策定した「富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画（基本編）」について、富士宮市職員を対象に研修会を開催しました。本研修会は平成28年3月から始まり、通算9回開催しました。

■12/21(水) i-Construction実践セミナーの開催

約150人（内、民間企業関係者：約100人、行政関係者：約50人）（建設業協会（静岡・清水・富士）、岳南地区測量設計技術研究会、ICT導入普及研究会、静岡県、静岡市、富士市、富士宮市、国土交通省）

国土交通省では、建設現場の生産性向上により、企業の経営環境を改善し、建設現場に携わる人の賃金の水準の向上を図るなど魅力ある建設現場を目指す取組を「i-Construction」と名付けて推進しています。今回、「i-Construction」の1つの「建設ICT」について必要となる技術を実践的な講習によって深めていただきました。



建設ICTを搭載した建機の操作体験

イベント案内

■2/11(土)・12(日) なんでも富士山2017 ■開催時間 10:00～17:00 場所 富士市産業交流展示場 ふじさんメッセ

富士山の美しさと恵み・富士市の優れた地産品を広く知っていただくことを基本テーマに、今年もなんでも富士山が開催されます。富士砂防事務所は土砂災害・火山災害をテーマに、防災意識の啓発のためにブースを出展いたします。

●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100 TEL 0544-27-5221 担当/調査課
URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/> E-mail cbr-fujisabo@mlit.go.jp

■富士宮砂防出張所 〒418-0103 静岡県富士宮市上井出1321-9 TEL 0544-54-0236

■由比出張所 〒421-3211 静岡県静岡市清水区蒲原新田2丁目16-8 TEL 054-389-1202

★現場見学などについては、富士砂防事務所HPの「富士砂防現場見学と出前講座」の欄をご覧ください。

「ふじあざみ」に掲載している内容・データ等は、現時点までに得ている調査結果を基本にしています。今後の調査等の進展により、内容の一部または全部に変更が生じる場合もあります。